

# ながと 市議会だより

Nagato City Council

# 6

月定例会

No.73

2024 (令和6年) 8/1



## INDEX

▶ 6月定例会	.....	2 ~ 4	ページ
▶ 一般質問	.....	5 ~ 10	ページ
▶ 第1・2回臨時会	.....	10	ページ
▶ 議会報告会	.....	11	ページ





# 総額 1億 2,322万円

観光政策・子育て支援・生活環境整備など

## 増額補正を可決

6月定例会を6月7日(金)から7月5日(金)までの29日間の会期で開きました。一般会計補正予算(第2号・第3号)を含めた11議案、5件の報告及び請願1件、決議案2件の審査を行い、すべての議案等を原案のとおり可決及び採択しました。

### インバウンドの受け入れ環境整備を

ながと国際観光推進事業 1,200万円

**問** 今後、山口県へのインバウンド増加が期待されることから、東アジア圏に加え、欧米豪へのプロモーション実施及び市内事業者の受入環境整備支援に係る経費を計上するものです。

**答** ながと国際観光推進事業の積算根拠を伺う。

**問** 欧米豪へのPR予算を1,000万円、残り200万円を受け入れ環境の補助としている。受け入れ環境の補助については、上限10万円、補助率2分の1、合計20件で200万円支給することを想定している。

**答** どういった事業効果を期待しているのか。

**問** インバウンドは旅までの準備期間が長いことから、すぐに観光客が増加することは難しいと考えている。一方で関西万博やデス

**問** ティネーションキャンペーンが控えていることから、このタイミングで認知度を向上させる必要があると試算を計上した。欧米豪へのプロモーションを推進することで東アジアのインバウンドの拡大にもつながると考えている。

### 令和6年9月分の保育料から適用

ながと子育て応援第2子以降保育料無償化事業 357万円

**問** 県事業を活用し、所得要件を設けずに3歳未満児の第2子以降保育料を無償化することから、私立認定こども園2園が本来保護者から受領するはずであった保育料補填の経費を計上するものです。

**答** 保護者やこども園から市に対して手続きや申請等は必要か。

**問** 長門市に住民登録のない子で生計を一緒にし

**三隅地区のごみ収集車を更新 塵芥処理用パッカー車更新事業 1,078万円**  
三隅地区でごみ収集に使用する塵芥処理用パッカー車の更新にあたり、発注から納車まで1年6カ月程度を要すことから、備品購入に係る費用を債務負担行為として設定するものです。

**問** パッカー車を更新するということは、三隅地区のごみ収集事業は直営の方針を今後も堅持していくのか。

**答** 今回債務負担行為を設定したが、委託についても慎重に検討していかなければならないと考えている。

**問** ている子が居る場合は保護者の方から届け出を行っていた。これも園の手続きとしては、請求が必要になる。財源の2分の1は市が一般財源から出しているが、今後も一般財源を充てていくのか。

**答** 来年度以降の財源は、有利な補助金があればそちらを優先的に活用していきたい。

### その他の補正

- 長門市地域福祉センター改修事業 291万円
- 定住促進対策事業 600万円
- 環境整備協力費基金費 1,077万円
- 新規就業者等産地拡大促進事業 233万円



▲更新が予定されているパッカー車

# 6月定例会

6月定例会では、2つの決議案「パレスチナ自治区ガザ地区における人道的即時停戦を求める決議」及び「北浦地域におけるACS患者の医療体制の改善を求める決議」を全会一致で可決しました。

**決議案第2号** 北浦地域におけるACS患者の医療体制の改善を求める決議

## 365日24時間受け入れ体制の確保を！

救急医療の体制は、「いつでも、どこでも、誰でも」適切な救急医療を受けられるよう、1964年の救急告示制度に加え、1977年からは、一次、二次、三次の救急医療機関ならびに救急医療体制の体系的な整備がなされてきた。救急医療は、すべての人が生命保持の最終的な拠り所として必要とされるものであり、救急業務についても、救急医療の重要な役割を担うことから、地域住民の安心・安全な暮らしを支えるものとして、その期待に応えるものでなければならない。

そうしたなか、本市のACS患者の受け入れ先である萩市民病院が、6月1日からACS患者のPCI治療ができる時間帯を縮小することが明らかとなった。これまで萩市民病院では、365日24時間体制で同疾患に対応してきたが、今後は、平日の午前6時30分から午後6時30分までに限定され、平日夜間や土日、祝日についてはPCI治療を行わないこととなった。

これにより長門市内の患者は、山陽側の高度医

療病院に救急搬送せざるを得ない状況となり、この医療体制の縮小は長門医療圏域のさらなる循環器医療の環境悪化につながりかねないと考える。

地域医療は、地域に必要な医療を公平・公正・継続的に提供することで、住民の生命と健康を守り、地域の健全な発展に貢献するものである。

誰もが安心して医療機関にかかる体制づくりは、本市にとって喫緊の課題であり、地域医療の確保・充実は、地域住民共通の願いでもある。

よって、県におかれては北浦地域の地域医療の充実に向け、萩市民病院を核としたACS患者の365日24時間受け入れ体制の確保ならびに長門医療圏域におけるACS患者の医療体制の早急な改善が図られることを強く求める。

ACS・・・急性冠症候群。不安定狭心症や急性心筋梗塞などがあります。  
PCI・・・経皮的冠動脈形成術。狭心症や心筋梗塞などに対するカテーテルを用いた比較的負担の少ない治療法です。

**請願第1号**

**動物愛護活動にふるさと納税制度の活用を求める請願**

請

願

採

択

人と動物との  
共生社会の実現

動物愛護団体を守る会代表の沖田安男氏から提出された請願第1号「動物愛護活動にふるさと納税制度の活用を求める請願」（紹介議員：綾城美佳議員、林哲也議員）は、6月21日の本会議で紹介議員の趣旨説明が行われた後、総務産業委員会に審査を付託（P4）しました。

請願の内容は、長門市へふるさと納税を行おうとする、動物愛護活動に関心のある寄付者の選択肢として、寄付金の使途に動物愛護団体「ちびたまのしっぽ愛護会」をはじめとする動物愛護団体等への活動支援を追加してほしい。また、ふるさと納税制度の活用により、動物愛護団体等の活動が持続可能となるよう支援を行ってほしいという2点です。

人と動物との共生社会の実現を図るため、「ちびたまのしっぽ愛護会」は、長門健康福祉センターに収容された犬や猫を引き取り、迎え入れを希望する里親に命をつなぐマッチングを行っており、こうした懸命な努力によって、市内での犬や猫の殺処分数は6年間継続してゼロとなっています。

請願は委員会での採択を受け、本会議においても採択しました。



▲採択された請願の内容を市長へ伝えました

## 冷暖房設備の新設による使用料改定や請願審査

- ▶ 議案第 5 号 長門市使用料徴収条例の一部を改正する条例
- ▶ 請願第 1 号 動物愛護活動にふるさと納税制度の活用を求める請願

この議案は、災害時の指定避難場所にも指定されている油谷河原農業研修所多目的ホールにおいて、冷暖房設備を新設することに伴い、新たに冷暖房使用料を定めるため、所要の改正を行うものです。

審査では、「改正後の使用料」について質疑があり、「施設と冷暖房の使用料は別立てであり、施設の使用料はこれまでどおり 1 時間につき 400 円、冷暖房を使用するにはそれぞれ 1 時間あたり 200 円が追加される」との答弁がありました。

また、請願第 1 号についても審査を行いました。請願者の代表を参考人として招致し、紹介議員に出席を求めました。はじめに、参考人から請願の

趣旨について意見の陳述を受け、その後、紹介議員へ質疑を行いました。委員から「ふるさと納税制度の活用についての見解」について質疑があり、紹介議員から「寄付を希望する方から動物愛護団体に対してふるさと納税の問合せが多くあり、制度がないことで寄付につながらないことが往々に



してある。動物愛護というところに目的をはっきりさせることで、新たな寄付額の増加につながると考えている」との答弁がありました。

## 現行の保険証廃止に伴う資格確認書の発行

- ▶ 議案第 2 号 令和 6 年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

この議案は、令和 6 年 12 月 2 日をもって現行の保険証が廃止されることから、その対応に必要な予算を計上するものです。

審査では、「資格確認書」について質疑があり、「保険証の廃止に伴い、マイナンバーカードをお持ちでない方、また保険証として未登録の方が、保険証の代わりに医療機関等を受診することができるもの」との答弁がありました。

次に、「マイナ保険証の利用率」について質疑があり、「本年 4 月診療分での利用率は、全国平均が 7.10 パーセント、長門市は 12.34 パーセントで

ある」との答弁がありました。

さらに、「紙の保険証と資格確認書の有効期限」について質疑があり、「どちらも発行後 1 年間である」との答弁がありました。

討論では、委員から「医療機関の窓口で見せるだけで保険診療を受けられる制度を投げ捨て、巨額の予算と人手をかけて欠陥だらけのマイナ保険証に一本化するの愚策と言うしかない。保険証廃止を強行すれば、混乱が今と比べようもなく広がることは明らかである」との反対意見がありました。

## 6 月定例会議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和 6 年度長門市一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決
2	令和 6 年度長門市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
3	令和 6 年度長門市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
4	長門市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例	原案可決
5	長門市使用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
6	長門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
7	長門市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
8	長門市地域包括支援センターの運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
9	和解及び損害賠償の額を定めることについて	原案可決

議案番号	件名	結果
10	山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	原案可決
11	令和 6 年度長門市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決
請願 1	動物愛護活動にふるさと納税制度の活用を求める請願	採択
決議案第 1 号	パレスチナ自治区ガザ地区における人道的即時停戦を求める決議	原案可決
決議案第 2 号	北浦地域における ACS 患者の医療体制の改善を求める決議	原案可決
報告 1	令和 5 年度長門市一般会計予算に係る繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告 2	令和 5 年度長門市水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	—
報告 3	令和 5 年度長門市下水道事業会計予算に係る建設改良費繰越計算書の報告について	—
報告 4	公益財団法人長門市文化振興財団の経営状況について	—
報告 5	一般社団法人アグリながとの経営状況について	—



# 一般質問



西村 良一  
議員

海外派遣事業によるリーダー育成

**問** 平成元年度から平成七年度まで、リーダー育成のため地元住民を対象に海外派遣をしていた。大変有意義な事業だったと思うが、今後復活する考えはあるか。

**答** 現在は、長門市を担う若者の育成を図る講座や市民活動支援センター「市民サポートなご」とにおいて開催している様々な講座やワークショップなどで人材育成に取り組んでいる。情報化社会の進展により、時間や場所を問わず情報にアクセスできるようになったことから、この取り組みに専念していきたいと考えている。

海洋ごみ対策の強化を

**問** 国定公園である長門の海岸には色々なごみが漂着しており、観光や自然環境、漁業や生活環境も脅かしている状況であると考えますが、この海洋ごみを回収して集める、いわゆるごみステーションを各海岸・漁港に設置する対策は出来ないか。

現在、二位ノ浜海水浴場に公益財団法人が「拾い箱」を設置している。また、漁業者等の協力を得て回収された海洋ごみは市が陸揚げして運搬、処理している。これまで漁協や漁業者からごみステーション設置の要望はないことから、現状どおりの対応をしたい。

**答** 現在、二位ノ浜海水浴場に公益財団法人が「拾い箱」を設置している。また、漁業者等の協力を得て回収された海洋ごみは市が陸揚げして運搬、処理している。これまで漁協や漁業者からごみステーション設置の要望はないことから、現状どおりの対応をしたい。

**問** 海洋ごみは毎日のように漂着しており、現在は年に一回の一斉海岸清掃をしているが、それだけで充分だと考えているか。

**答** 個人・団体での清掃活動も随時行っており、現在の対応を継続したいと考えている。

▼海洋プラスチックごみが散乱する市内海岸



米弥 又由  
議員

本市のひきこもり支援は

**問** 現在、ひきこもり状態の長期化、8050問題や親亡き後の本人支援等が大きな社会問題となっている。そこで、本市におけるひきこもり支援について市長の見解を問う。

**答** ひきこもりについて当事者や家族に正しく理解していただくことが重要である。市で把握できる範囲においてひきこもりと思われる当事者の家族に声をかけ、相談できる場所の周知に努めている。また、市内のNPO法人と密接な協議を重ね、本市の実情に即した切れ目のない支援の充実強化に取り組んでいる。

**問** 様々な支援をしていく体制はできつつあるものの、ひきこもり支援に特化した法律も制定されていない中で支援活動には限界があると思われるが、ひきこもり支援についてどう対応されているのか。

**答** 当事者や家族の相談に応じたリ、訪問や電話による状況確認、安心して過ごせる居場所の提供をしている。令和5年度には、8名の方が「里の居場所」を利用し、これまでに2名の方が一般就労へつながった。

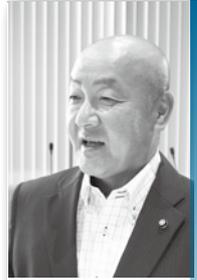
**問** ひきこもり支援には他の機関との連携が必要と思うが、連携状況を問う。

**答** 基幹相談支援センターを中心に、長門健康福祉センターやNPO法人きらり、長門市社協、地域包括支援センター、民生委員児童委員、福祉エリア支援員等関係機関が参加する包括的支援会議を開催し、個別ケースの見立てやアプローチ方法の検討をしている。

▼KHJ 山口県「きらら会」意見交換会のようす



SHIGEMURA NORIHIRO



重村 法弘  
議員

市内での流通・消費拡大を  
目指すべき

**問** 農業振興における農業生産物の消費・販路拡大、認知度向上等は各種計画によって推進が図られているが、消費拡大・流通の出口施策の必要性について、今後どのように考えているか。

**答** これまでも未来農業創造協議会の各部会の中で課題解決に向け議論を進めてきた。今後は販路拡大部会において市内宿泊施設や病院、福祉施設、飲食店等への市内流通の推進に係る施策を検討するとともに、生産量拡大等の取り組みを進めブランド化を図っていききたいと考えている。

防災力強化は防災意識の醸成から

**問** 市長は二期目の就任にあたり重点施策の一つに、災害に強い基盤の構築を掲げ「防災力強化」は行政の重要な使命との認識に立ち施策を進めているが、現状と今

後における課題は何か。

**答** ハード面では、防災行政無線や告知端末機、防災メール等の情報伝達手段の多重化を令和4年度に完了させ、適切なタイミングでの確かな情報発信に努めている。また、防災拠点となる西消防署や油谷支所の新庁舎建設も進めている。ソフト面においては、災害時の円滑な協力体制を確立するため、物資の供給協定や相互応援協定等を41事業所と締結してきた。

課題としては、これまで本市において大規模な災害が発生していないこと等から、避難所を開設する状況下にあっても避難者数は極めて少ないため、改めて地域の避難体制づくりと、防災意識の醸成が必要と認識している。

▼地元スーパーに並べられた日置すいか



NAKAHIRA YUJI



中平 裕二  
議員

文化財保護継承の取り組みを

**問** 有形文化財の保護、支援にどう取り組んでいるのか。

**答** 文化財の保存及び保護を図るために文化財保護協力員を配置し、定期的な巡回点検を行い、その報告に基づき破損箇所の修繕や環境整備を行っている。引き続き大切な地域の財産を継承していく取り組みを進めていきたい。

**問** 無形民俗文化財の保護、支援にどう取り組んでいるのか。

**答** 継承活動に係る経費について、一部補助を行っている。民間企業や公益財団などの助成制度の活用を案内、促しながら地域文化を次世代に継承していく取り組みの支援を行っていききたい。

**問** 文化財保存活用地域計画にはどのような利点があるのか。また、計画策定に要する日数及び予算を尋ねる。

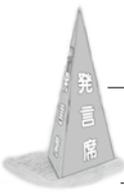
**答** 計画策定により、地域総がかりで文化財を守り、生かし伝える体制、また文化財を分かりやすく総合的、一体的に保存・活用することで、地域の特性を生かした振興に資するとともに確実な文化財の継承につなげる体制が整う。さらに、文化庁の補助事業活用面でも利点がある。策定には複数年を要すと考えられることから、現時点での予算算定は困難である。

**問** 市長の文化財保護、継承に対する考えを尋ねる。

**答** 文化保存団体や継承団体への継続的な支援、文化財の定期的な整備により、郷土愛をしっかりと醸成して後世につなげていくことが大事だと考えている。

▼滝坂神楽舞（県指定無形民俗文化財）





# 一般質問



IWAFUJI MUTSUKO

岩藤 睦子  
議員

まちづくりは「オール長門」で

**問** 多様化していく社会に適応していくために市民の声を聞く姿勢がますます重要となるが、「市長と協働のまちづくりミーティング」は市政運営にどのように反映されたのか。また、市政の課題解決に向けた今後の進め方はどうか。

**答** 市民のいのちと生活を守ることを基本理念とし、市民が心豊かに生活できるように市民の声をしっかりと聞き、デマンド交通や小型移動スーパールの導入、子宮がんや乳がん検診の無料化、切れ目のない子育て支援策、移住施策などを展開してきた。今後は、人口減少下でも持続可能なまちの創出を目指していくために課題を洗い出し、解決に向け市民や民間事業者、行政が一丸となり、オール長門で取り組んでいく必要があると考えている。

**問** ミーティングの具体的な進め方について尋ねる。

**答** 今年7月からの新たなミーティングを通して、人口減少の現状や課題などを市民と共有した上で共に意見を出し合い、出された意見をこれからの市政運営に反映させていく。

どうなる風力発電事業

**問** (仮称)新白滝山風力発電事業について、去る4月11日にラポールゆやで開催された環境影響評価方法書の住民説明会では反対意見も見受けられた。市民の理解が得られない場合の市の対応はどうか。

**答** 民間事業であり、地元住民の理解と同意が大前提だという市のスタンスは変わっていない。

▼天井ヶ岳登山途中から見える風車



AYAGI MIKA

綾城 美佳  
議員

早めの熱中症対策を

**問** 環境省は、今年の暑さが過去に例のない危険な暑さとなり、人の健康に重大な被害が生じる恐れがあるとしている。今までの熱中症予防行動では不十分な可能性があり、早めの熱中症対策が必要と言われているが、本市の熱中症対策はどうなっているのか。防府市では熱中症対策本部を設置し、全庁を挙げて積極的に独自対策を展開している。本市でも、すでに熱中症による救急搬送事案が発生しているが、熱中症に対する取り組みが遅いのではないか。本市も熱中症対策本部の設置や、独自施策を図ることで熱中症から市民を守る必要があるが、どう考えているか。

**答** 熱中症対策については、庁内でしっかりと議論していく。予算措置が必要になる際には議会に相談させていただく。体制については、各部署が関係してくるため、庁内で議論したい。

北浦地域の救急医療体制は  
**問** 6月1日以降、萩市民病院ではPCI治療の施術時間外となる平日夜間や土日、祝日の処置が出来なくなる。緊急の処置が必要な場合は、山陽側の病院に搬送することになるが、市長はどう受け止めているか。

**答** 市民の生命に関わる問題と重く受け止めている。市内医療機関を交えた救急医療対策協議会を開催し、長門医療圏域でのACS患者の受入体制の改善と救急搬送体制の強化、専門医の確保について協議を行う予定である。また、県や山口大学医学部に対して、長門医療圏域でのACS患者の受入体制の改善に関する要望を行う。

▼防府市の熱中症対策本部 (山口新聞引用)





HAYAKAWA AYANO  
早川 文乃  
議員

**問** 令和7年8月、(仮称)NAGATOスポーツ・カルチャークラブ(Nクラ)が運営開始予定である。各中学校に設置を検討しているレククラブの展開について問う。

**答** Nクラに参加しない生徒を対象に、原則平日のみの活動とし、地域の特色や団体及び人材を活用して、参加生徒のニーズに沿った様々な活動を行うことで、体格差を埋める活動を想定している。

**問** レククラブの企画・運営はど  
こが行うのか。

**答** 学校運営協議会、公民館等の活動の延長など様々な組織・団体が想定されている。部活動地域移行は、学校部活動から地域の活動に移行する取り組みなので、学校が主体となって進める考えはない。

補助金制度の基準を明確に  
思いやりのある支援を

**問** 市は、行政目的を達成する最  
も効果的な手法として、公益  
上の必要性が認められる場合に予  
算の範囲を限度として補助金等を  
交付し、市民の活動を支援してい  
る。見直しを行う場合は、交付先  
に基準等について丁寧な説明を行  
う必要があると考えるがどうか。

**答** 市の目指すべき将来像を描く  
総合計画に基づき、公益性を  
十分勘案した上で各種補助制度の  
適正な運営を行い、社会経済情勢  
を踏まえつつ、補助金交付の基準  
も随時見直しを行っている。条件  
や見直し理由について市民に示し  
ていく必要がある。

▼三隅中学校実証実験(学校運営協議会主催)



带状疱疹ワクチンの公費助成を



HAYASHI TETSUYA  
林 哲也  
議員

**問** 带状疱疹の重症化防止にはワ  
クチン接種が効果的だと言わ  
れているが、接種費用は高額であ  
り、経済的負担を軽減するために  
も公費助成を検討してはどうか。

**答** 带状疱疹は水痘と同じウイル  
スによって起きる皮膚疾患で  
あり、発症すると長期にわたり強  
い痛みや神経痛といった後遺症が  
生じ、罹患者の生活の質を低下さ  
せる懸念がある疾病であるため、  
接種費用の公費助成については速  
やかに制度化していきたい。

依山温泉街の活性化に向けて

**問** 本年3月策定の依山温泉グラ  
ンドデザインは持続可能で自  
立した温泉街を目指すとしている  
が、計画を具現化する上で、厳し  
い経営環境にあると言われる依山  
温泉合名会社が所有する源泉や温  
泉施設の問題は避けて通れないの  
ではないか。

**答** 今後の依山温泉街の活性化に  
向けて「白猿の湯」や「町の湯」  
は中心的な施設と位置付けている。  
指摘の点は認識しており、しっか  
り取り組んでいきたい。

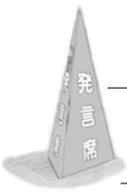
油谷地区の今後のまちづくりは

**問** 現在、新たな油谷支所等の整  
備が進められており、来年度  
に駐車場等の外構工事が完了すれ  
ばハード整備は終了となるが、今  
後の取り組みを尋ねる。

**答** 施設整備をもって油谷地区小  
さな拠点づくりが終わるわけ  
ではなく、地区住民一人ひとりが  
主体となった地域での活動を広げ、  
地区全体で地域を守り支えるまち  
の創出を目指していきたい。

▼依山温泉街にある白猿の湯





# 一般質問



HISANAGA SHINYA

ひさなが信也  
議員

## 地域産品の販路拡大を

**問** 地域産品の販路拡大が重要だ  
という点については総合計画  
でも示されており、私自身も非常  
に重要視している。販路拡大には  
様々な手法があり、現在、都市圏  
向けにフェア等を行っているが、  
都市圏ではなく県内他市や近隣県  
で行うほうが効果的であると考え  
る。長門市単独のフェアを開催し、  
実績を重ねて範囲を拡大していく  
のはどうか。協力いただけそうな  
ショッピングモールと事前に調整  
を行ったので、担当者同士で前向  
きに話をしてみてもどうか。

**答** 市の担当者が話を聞いてみる  
のはいいと思う。担当者の時  
間帯が空いているタイミングで行  
えると思う。

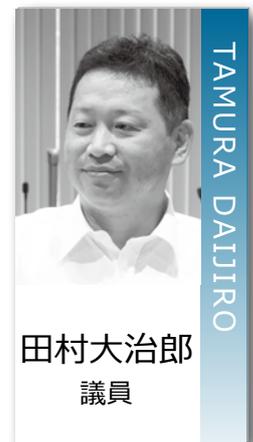
**問** 地域産品について、第2次長  
門市総合計画前期基本計画で  
は地域統一ブランド化を図るとさ  
れているが、現状はそうなって  
いないことについての見解は。

**答** 地域統一ブランド化について  
は、ブランドを保護するため  
の基準をどのようにつくるのか  
非常に難しく、関係機関と協議が  
進んでいないのが現状である。

**問** 今後、産品の生産力が上がり、  
販路を拡大していく際に、ど  
ういったものが長門市の地域産品  
であるのか独自の基準を設け、明  
確にしておく必要があると考える。  
他市ではそのような取り組みを  
実際に行っているところもあるが、  
長門市はどうか。

**答** 現在、明確な基準があるのは  
総務省が認めているふるさと  
納税の返礼品である。長門市独自  
の基準については、関係部署を含  
めてしっかりと協議していきたい。

▼市内で販売されている地域産品コーナー



TAMURA DAIJIRO

田村大治郎  
議員

## 道の駅の慢性的な駐車場不足

**問** 駐車場不足解消のためにバル  
棟前の市道を廃止して駐車場  
を拡張してはどうか。

**答** 一つの提案として、しっかり  
受け止める。

## 定着しやすい職場環境を目指して

**問** カスタマーハラスメント対応  
の今後の考え方を尋ねる。

**答** 対応方法について全庁的に取  
り組むため接遇クレーム対応  
マニュアルを本年度中に整備する。

**問** 社会情勢の変化や価値観の多  
様化する時代の中で、より良  
い職場づくりと職員の定着につ  
いて市長の思いを尋ねる。

**答** 市民のため、地域のために頑  
張ろうという熱意を持って頑  
張っていただき、そういう方が働  
けるような職場にしていきたい。

不登校児童生徒を持つ  
保護者への支援充実を  
保護者が相談や交流できる場  
所が必要ではないか。

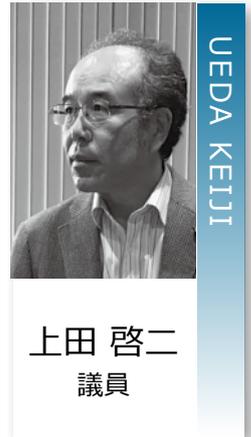
**答** 保護者同士のつながりは非常  
に大切であると考えている。  
自然な形で呼びかけ、つながる仕  
組みを作り、徐々に広げることが  
可能ではないかと思っている。

**問** 将来に不安を抱える子どもた  
ちの居場所の確保について。

**答** 将来的に、今の混沌とした状  
況が人生の中で花開くこともあ  
るだろうと信じている。これか  
ら悩みを共有し、一緒に悩んで  
いきたい。

▼道の駅「センザキッチン」





ふるさと応援寄附金

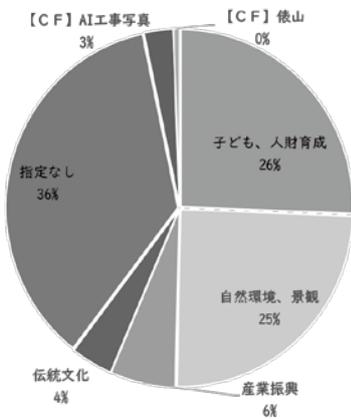
選択肢の拡大を

**問** 長門市に寄附をする際に、寄附者は①自然環境や景観の保全②伝統文化の保存継承③産業の振興④子どもの健やかな育成及びふるさとを担う人財育成と、⑤特に指定しないの中から選択する仕組みになっている。

**答** この①から④の選択肢を増やして具体性を持たせ、長門市さを発信してはどうか。また36%を占める「指定しない」を「市長に任せ」あるいは「市長が必要と認める事業」に変更して、さらに戦略性を増してはどうか。

**答** 現状は利用者からのご意見やご要望は特に伺っていない。使い勝手がいい部分もある中、関心をさらに高められるよう、本市ならではの施策を選択肢に加えることによって、寄附額の増額につながる可能性もあることから、他自治体の事例を参考にしながら研究していきたいと考えている。

▼令和5年度「長門市ふるさと応援寄附金」内訳



**問** 令和5年度実績より「指定なし」で選択される36%を占める1億円強の貴重な財源を特定目的基金に取り崩すことで、より透明性が増すと同時に、大きく思い切った施策の展開が図れると考えるが、見解を伺う。

**答** 確かに寄附額は年々増加しているものの、現時点で本市の予算規模に比べてまだ多いとは言えず、単年度の歳出に対して十分充当可能な状況下にあることから当面は予定していない。しかし、これについても、今後寄附額がさらに増加していくことを想定し、タイミングを図りながら他自治体の事例を参考に、研究していきたい。

## 工事請負契約

# 油谷支所新庁舎・西消防署新庁舎 工事はじまる

4月19日に第1回臨時会を開き、1件の契約議案を可決し、専決処分2件を承認しました。工事請負契約の締結について（油谷支所庁舎等建築工事）は、3月25日に条件付一般競争入札が行われ、ヤマネ鉄工建設・中原組特定建設工事共同企業体が4億9,390万円で落札したことから、契約を締結することについて、議会の議決を求めるものです。

審査を付託した総務産業委員会では、委員から「2回目の入札までに1週間程度の期間を要した理由」について質疑があり、執行部から「書面入札であれば1回目で決定しない場合は引き続き2回目の入札を行うが、電子入札では入札参加者への通知等を行う必要があり、入札日を含め3日間を空けた3月25日に再度入札を行った」との答弁がありました。

5月23日に第2回臨時会を開き、令和6年度一般会計補正予算（第1号）と契約議案を可決しました。工事請負契約の締結について（西消防署庁舎建築工事）は、4月16日に条件付一般競争入札が行われ、安藤建設株式会社が1億9,250万円で落札したことから、契約を締結することについて、議会の議決を求めるものです。

審査を付託した総務産業委員会では、委員から「工事着手日を7月1日とした理由及び見解」について質疑があり、執行部から「現在、建築事業に関する大型工事の発注が連続していることから、施工における経済性や効率性、不測の事態などを考慮に入れ、工事着手日を設定した」との答弁がありました。

### 第1回臨時会

議決結果

議案番号	件名	結果
1	工事請負契約の締結について（油谷支所庁舎等建築工事）	原案可決
2	専決処分の承認について（長門市税条例の一部を改正する条例）	承認
3	専決処分の承認について（長門市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	承認

### 第2回臨時会

議決結果

議案番号	件名	結果
1	令和6年度長門市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
2	工事請負契約の締結について（西消防署庁舎建築工事）	原案可決

# まちかどトーク

## 市民と議員が語る議会報告会

市内  
6会場で  
開催しました

令和6年度の議会報告会は、6グループに分かれ各自治会において開催します。5月から6月にかけて5月発行の「議会だより3月定例会号」の内容に沿って6会場で報告会を行いました。寄せられたご意見、ご要望、ご提案の一部を紹介いたします。いただいた声は今後の議会活動の参考にさせていただきます。



### 駅前区自治会（深川地区）

5/20

- ・いつも長門市駅は、観光施策から外されているのはなぜか。
- ・おもちゃ美術館はセンザキッチンではなく、ルネッサながとや図書館へ移設してはどうか。
- ・観光コンベンションもセンザキッチンに配置するのではなく長門市駅の2階を活用してはどうか。



### 野波瀬自治会（三隅地区）

6/1

- ・各自治会と意見交換も大切であるが、特に若い世代の方々との意見交換会を実施してほしい。
- ・漁港道の整備をしてほしい。
- ・釣り人によるごみ放置の対策をしてほしい。
- ・鳥獣害対策をお願いしたい。
- ・人口減少対策に取り組んでほしい。

### 北山自治会（日置地区）

6/2

- ・合併浄化槽の負担が大きいので対応してほしい。
- ・鳥獣害対策で、くくり罠の規制緩和をしてほしい。
- ・命に関わる医療の充実に努めてほしい。
- ・デマンド交通や移動スーパーのさらなる充実を図ってほしい。

### 堀田自治会（日置地区）

6/15

- ・市道管理の徹底をお願いしたい。
- ・危険空き家があり、瓦の落下など対策を講じてほしい。
- ・増加する耕作放棄地の対策をどう考えているのか。
- ・高齢者の免許返納に際し、買い物支援や公共交通について利用者本位で取り組んでほしい。

### 渋木1区自治会（真木・渋木地区）

6/20

- ・人口減少について、市も議会ももっと本気で取り組んでほしい。
- ・農業経営の担い手不足。作業量、作業時間に収入が見合わない。
- ・公共交通問題で免許返納による移動困難の解消に努めてほしい。
- ・議会報告会をもっと増やしてほしい。
- ・のろっちゃんの運行を見直してほしい。

### 一の瀬自治会（三隅地区）

6/30

- ・県道脇の木や草、土砂などが通行の妨げとなっている。県道の山側にある側溝にポールを設置してもらったが、役に立っていない。
- ・下水道を使用できないのだから、浄化槽の検査料だけでなく部品交換などに係る修繕費も助成してほしい。
- ・私有林の維持管理を支援してほしい。

## ☀ 表紙の説明



文教厚生委員会は、7月10・11日の2日間、教育委員会が実施している小中学校への学校訪問に同行しました。今回は三隅中学校(左の写真)と菱海中学校(表紙の写真)を訪問しました。各学年の授業参観を行った後、校長室において、校長先生や教育委員会から学校経営についての説明を受けました。今後もこうした取り組みを続けていきたいと思いました。

## ☀ ご案内

YouTube はじめました



←長門市議会  
YouTube  
チャンネル  
QRコード

長門市議会では、議会活動の見える化を目的にユーチューブチャンネルを開設。時間や場所に関わらずいつでもご覧いただけます。

## ☀ まちの声



南 真琴 さん  
仙崎地区在住 (会社員)

### 長門市議会に関してインタビューを行いました

Q 議会だよりを読んだことはありますか。

A あります。

Q 長門市議会に女性議員がもっと増えたほうが良いと思いますか。

A 多様性が求められる中、男性、女性は関係ないと思います。女性でも男性でもやる気があり実行力のある方が議員をされたらいいと思います。

Q 若い人が議員に立候補しやすくなるためには、何が必要と思いますか。

A 地域におられる現職の市議の方々が若者と話し合う場を持ち、意見を聞き、これからの長門市を良くするにはどうすれば良いかを一緒に考えてみられたらいいと思います。自分の考えや意見が受け入れられると感じれば若い人も立候補されるのではないかと思います。

Q 市政に望むことはありますか。

A たくさんの方に会うなかで高齢者の雇用問題を聞きます。人生100年時代です。生涯現役で若い人も高齢の方もみんなが働きやすい職場が増えることを望みます。

## ☀ 編集後記

▶一般質問の学芸会問題が報道されてから、2回目の定例会が閉会しました。「学芸会ではなく、市長や議員の生の話を聞きたい。議員のレベルを確かめ、投票の参考にしたい」など多くの声をお聞きしました▶私でも、出来上がった原稿を読み合うだけの議会は見たいと思いません。よ

く、国民が政治に関心がないと言われますが、関心がないのではなく、「見たい議会ではない」それだけの話だったのかもしれませんが▶残りの任期も1年を切りました。今回の問題を機に、二元代表制である議会のあるべき姿をこれまで以上に探究していきたいと思えます。(綾城)

ながと市議会だより  
発行/山口県長門市議会  
編集/広報広聴常任委員会

委員長	ひさなが信也
副委員長	田中千秋
委員	林哲也
	綾城美佳
	田村大治郎
	米弥又由